

部長名	健康医療部長
-----	--------

部のミッション
「市民の健康の維持・増進」 市民が生涯を通じて自ら健康づくりに取り組み、住み慣れた地域で心身ともに健康で安心して暮らせるよう、保健・医療・福祉の連携を強化し、保健医療の充実に努める。
部のビジョン
「自分で、家庭で、地域で、笑顔あふれる健康なまちづくり」の推進 市民の健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指し、誰もが住み慣れた地域で互いに支えあい、健康でいつまでも元気に生きがいを持って暮らしていけるよう、保健・医療の総合的な施策を企画・推進する。

重要度が高い事務事業					
番号	施策番号	細施策番号	事業名	重要度が高いとする理由	事業実施課
1	12	1	地域医療体制整備 (小児・障害メディカルセンターの管理運営)	老朽化が進んでいる小児・障害メディカルセンターの安定運営を図るとともに、障害者施設等との複合化、災害時における施設の有効活用を視野に入れた建替え検討を進め、小児医療体制を確保する必要がある。	健康医療政策課
2	12	1	地域医療体制整備 (先進・救急医療提供、小児医療)	市民に高度医療を提供している中核病院である八王子医療センターの建替え支援は、市民の命と健康を守るために不可欠であり、組織横断的な調整等により実現する必要がある。	健康医療政策課
3	11	1	健診・検診の推進	八王子市が誇るがん検診の精度向上の取組は市民のQOL維持のためにも重要。市民の健康を守るための効果的な取組を行うために、「LIFE Study」からのフィードバックに基づくEBPMを強力に推進する必要がある。	成人保健課
4	11	1	生活習慣病重症化予防	八王子市独自の「血管守ろうプログラム」の実績を積み上げ、健康寿命の延伸と医療費の適正化につながる客観的な評価を確立する必要がある。	成人保健課
5	11	1	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	各地域の健康課題を把握・分析し、個別支援や通いの場への効果的なアプローチを行うなど、健康寿命の延伸と医療費の適正化をはかる必要がある。	成人保健課
6	8	2	国民健康保険事業特別会計への繰出金	医療費削減と国民健康保険税の収納率向上等の取組により一般会計からの赤字補填によらない、持続可能な国民皆保険制度を維持する必要がある。	保険年金課
7	12	1	看護専門学校運営	市立看護専門学校として地元で根差した特長のある授業を行い、高い国家試験合格率と市内就職率を維持することで、地域医療を支える人材を育成・輩出する必要がある。	看護専門学校総務課
8					
9					
10					

施策番号	12	細施策番号	1	細施策名	地域医療連携体制の強化	事業名	地域医療体制整備(小児・障害メディカルセンターの管理運営)	
目標設定にあたって重視した点				経営計画に掲げる重点事業の推進				
1	【目的】				【目標（2030年のあるべき姿）】		【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>地域医療連携体制を強化することにより、市民の安心につながる医療体制の充実を図る。</p> <p>(小児・障害メディカルセンターの管理・運営) 平成22年3月の都立八王子小児病院の都立小児総合医療センター（府中市）への移転・統合に伴い、その事業の一部を継承し、公共性と事業の継続性を確保しながら、医療・療育・相談支援を一体的に提供できる環境を整備する。小児・障害メディカルセンターを安定運営することで障害のある子どもとその家族の日常生活の安心を守る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・移転・建替えに向け、医師会をはじめとした関係機関・団体との調整が進み、新たな施設の機能が整理され、市民・議会の理解が得られている。 ・建替えの施行業者が決定し令和12（2030）年度内に工事に着手している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・関連部によるプロジェクトチーム(以下「PT」という)を中心に外部検討会が設置・運営され、利活用方針策定に向けた検討が進んでいる。 ・国・都・各分野の関係者との調整が進み、移転・建設にかかる方向性が整理されている。 	
	【現状】				【課題】		【事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ・主たる施設が令和12年度に築50年を迎える小児・障害メディカルセンターの国有地への移転・建替えの方向性を決定し、国との調整に着手している。 ・国有地の活用方法について、医療・福祉機能の市内配置など、関連部とともにまちづくりの視点を加えた検討を引き続き関連部と行っている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・庁内関係部署の主体的参加及び利活用方針策定検討会設置に関する各部の課題の共有と整理に向けた取組 ・国有地活用方法の明確化 ・公共施設マネジメント及びまちづくりの視点による新施設機能の検討とブラッシュアップ ・技術的視点による複合機能の実現可能性のシミュレーション ・医療・福祉・子ども・教育分野の関係外部団体との調整・合意形成 		<ul style="list-style-type: none"> ・国有地利活用方針策定に向けたPTの設置 ・国、東京都、関係機関・団体との調整 ・国有地利活用方針（基本構想）策定支援委託 ・国有地利活用方針検討委員会の設置 ・移転候補地（国有地）の不動産鑑定 ・既存施設の適正管理 ・運営主体である「島田療育センターはちおうじ」等との情報共有・課題把握 		
施策番号	12	細施策番号	1	細施策名	地域医療連携体制の強化	事業名	地域医療体制整備(先進・救急医療提供、小児医療)	
目標設定にあたって重視した点				多様な主体との連携				
2	【目的】				【目標（2030年のあるべき姿）】		【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>地域医療連携体制を強化し、市民の安心につながる医療体制の充実を図る。</p> <p>(先進・救急医療提供、小児医療) 市立病院を有しない本市において、東京医科大学付属八王子医療センター及び東海大学医学部付属八王子病院（以下「両中核病院」という。）が実施する救急医療及び専門医療に対し、その経費の一部を支援することで、市内医療体制の確保・充実を図る。</p>				<ul style="list-style-type: none"> ・市民の命を守る先進・救急医療と小児救急を担う両中核病院が安定した医療提供体制を維持している。 ・八王子医療センターの新棟建設等建替え事業については、年度内に新棟建設工事が完了している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・両中核病院において、救急患者の受け入れが円滑に行われている。 ・八王子医療センターの建替えに向けた調整が手戻りなく進められている。 	
	【現状】				【課題】		【事業内容】	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の命を守る先進・救急医療と小児救急を担う両中核病院に対し、経費の一部を支援している。 ・令和3年度より中核病院と様々な連携を図るため協議会を設置し、課題等を共有している。 ・八王子医療センターの建替え事業が円滑に進むよう、庁内関連部署とともに課題解決を図るための協力体制を構築し、支援を行っている。 				<ul style="list-style-type: none"> ・夏・冬における両中核病院への救急搬送の円滑化 ・令和8年度の診療報酬改定による両中核病院等の経営への影響把握 ・八王子医療センターの建替えを円滑に進めていくための組織横断的な連携強化と情報収集・把握・共有 		<ul style="list-style-type: none"> ・中核病院の課題把握と共有、連携強化を図る協議会の開催 ・八王子医療センターの建替えに係る組織横断的な関係者会議の開催 		

3	施策番号	11	細施策番号	1	細施策名	健康づくりの推進	事業名	健診・検診の推進	
	目標設定にあたって重視した点		経営計画に掲げる重点事業の推進						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>市民の健康維持・増進を図るため、健康増進法に基づき、科学的根拠に基づく各種がん検診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療に結び付ける。また、民間との共創によりデータを活用した科学的根拠に基づく効果的な保健事業を実施する。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・各種検診事業において、精密検査受診率が100%となっている。 ・職域等で受診機会のない市民に適切に情報が行き届き、受診に結びついている。 ・「LIFE Study」からのフィードバックが本市の保健事業の評価に活かされ、効果的な保健事業の方向性が定まっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・肺がん検診の二重読影体制デジタル化移行の準備が整っている。 ・がん検診専用ホームページが適切かつ効果的に運用されるときに、受診者の減少を防ぐためのデジタルデバインド対応が講じられている。 ・「LIFE Study」参加の効果について庁内で共有が図られている。 		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診等 <ul style="list-style-type: none"> ・全国的に評価が高い精度管理体制を構築している。 ・肺がん検診においてデジタル画像による二重読影を試行している。 ・受診勧奨は紙ベースでの通知が主となっている。 ○データ活用 <ul style="list-style-type: none"> ・九州大学の「LIFE Study」に参加している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・大腸がん検診の精密検査受診率の向上 ・紙媒体に代わる受診勧奨手法の検討 ・自治体検診のデジタル化による検診事務の効率化 ・「LIFE Study」からのフィードバックを活かすための知識習得と事業検討・調整 			<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診等 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ作成・公開 ・無料クーポン券及び勧奨・再勧奨通知の送付 ・各種がん検診と胃・肺・乳がん検診結果の二重読影実施 ・がん検診専門懇談会の開催 ○データ活用 <ul style="list-style-type: none"> 「LIFE Study」からのフィードバック、研修会開催 			
4	施策番号	11	細施策番号	1	細施策名	健康づくりの推進	事業名	生活習慣病重症化予防	
	目標設定にあたって重視した点		経営計画に掲げる重点事業の推進						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	<p>市民のQOLの維持・向上、医療費全体の適正化を目指すため、「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」等に基づき、生活習慣病のリスク要因を持つ者に対し、保健指導を実施、早期受診・治療への働きかけを行う。</p>			<p>プログラム参加の有無による疾病発症率、透析導入率、医療費・介護給付費等を比較し、プログラムの有効性が客観的に評価できている。</p>			<ul style="list-style-type: none"> ○以下の指標において前年度実績を上回っている。 ・尿中アルブミン検査が実施できる医療機関数 ・尿中アルブミン検査受診率 ・じんまも面談実施率 ・じんまもパス発行率 ・腎臓専門医受診率 		
【現状】			【課題】			【事業内容】			
<ul style="list-style-type: none"> ・市独自の慢性腎臓病・糖尿病性腎症予防のための「血管まもろうプログラム」を構築している。 ・「じんまもパス」該当者へのパス発行率が低い。 ・尿中アルブミン検査対象者の約半数が未受診、「じんまも面談」対象者の半数が未予約となっている。 ・今後の短期、長期的な具体的な評価事項が定まっていない。 			<ul style="list-style-type: none"> ・アルブミン検査対象者の実施期間内受診率の向上 ・「じんまもパス」該当者のパスが発行率向上 ・上記を達成するための体制整備と医療機関の意思統一 ・プログラムをアウトカム評価できる基盤整備 ・専門懇談会における精度管理体制の共有 			<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムに基づく発症させない介入（アルブミン検査及び検査結果に基づく「じんまも面談」）の実施 ・悪化の速度を遅らせる介入（腎臓専門医への紹介状である「じんまもパス」の発行）の実施 ・糖尿病・高血圧症の基準値を超える方への通知・電話等による受診勧奨の実施 ・検診協力医療機関の増加につながる働きかけ ・医療機関の意思統一につながる説明会の開催 			

施策番号	11	細施策番号	1	細施策名	健康づくりの推進	事業名	後期高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	
目標設定にあたって重視した点				多様な主体との連携				
5	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>・後期高齢者の健康寿命の延伸を目指し、国保データベース（KDB）等を活用して地域の健康課題を分析するとともに、日常生活圏域ごとに高齢者への個別支援やフレイル予防に関する健康教育を実施し、通いの場等への積極的な参加を促進する。</p> <p>・介護予防の推進、医療費の削減、新規透析患者の減少を図るため、国民健康保険の保健事業として生活習慣病予防事業との切れ目ない連携を展開する。</p>			<p>フレイル予防や生活習慣病等の発症・重症化予防に対する住民の認知と取組が進むことで、生涯にわたる健康の保持増進や生活の質（QOL）の維持・向上が図られている。</p>			<p>・各地域特性に合わせた活動が展開されている。</p> <p>・健康寿命の延伸に向けて自らの健康状態に対する意識向上、生活習慣の見直しが図られている。</p> <p>・関連所管、関係機関と連携した取組が行われている。</p>	
	【現状】			【課題】			【事業内容】	
<p>・平均自立期間は、男女共に国や都よりやや長い。</p> <p>・健診受診率は向上しているが、血糖・脂質異常症・やせリスク保有者は国や都に比べて高い。</p> <p>・入院医療費は、骨折によるものが高い。</p> <p>・健康状態不明者は、約1.7%となっている。</p>			<p>・関連所管が実施する事業との連動による、より効果的な事業展開</p> <p>・口腔リスクの解消に向けた、高齢部門が実施する口腔フレイル対策や食楽訪問等の事業の活用</p> <p>・関連所管が保有するデータ（健康アンケート、健診データ、集団支援で把握したデータ等）を連動させた効果的な取組の実施</p>			<p>○ハイリスクアプローチ</p> <p>・低栄養防止・生活習慣病等の重症化予防の相談・指導</p> <p>・健康状態が不明な高齢者や閉じこもりの可能性がある高齢者等の健康状態の把握・必要なサービスへの接続</p> <p>○ポピュレーションアプローチ</p> <p>・保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士が地域の通いの場（複数箇所）に訪問し、健康チェックを行い、フレイルに関する健康教育等を実施</p>		
施策番号	8	細施策番号	2	細施策名	社会保障制度の適正運用	事業名	国民健康保険事業特別会計への繰出金	
目標設定にあたって重視した点				制度の見直しや長年の懸案事項の解決				
6	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】	
	<p>国民健康保険事業を将来にわたって安定的に運営できるよう、一般会計からの法定外繰入金を抑制する。</p>			<p>・給付適正化事業を推進し、医療費の削減に繋げることで、本市の負担が軽減している。</p> <p>・赤字解消を維持し続けることにより、国及び東京都からのさらなる財政支援が得られている。</p>			<p>・国民健康保険税の収納率向上の努力等により、一般会計からの法定外繰入金が解消している。</p> <p>・令和9年度の国民健康保険事業に係る適正な国民健康保険税の税額等が、八王子市国民健康保険運営協議会及び市議会から承認されている。</p>	
	【現状】			【課題】			【事業内容】	
<p>・被用者保険の適用拡大により、国民健康保険の被保険者構造が変化し、無職の方や年金収入のみの高齢者の占める割合が高くなっている。</p> <p>・平成30年度の国民健康保険制度の広域化以降、段階的に東京都が示す標準保険料率の適用を進め、令和6年度決算で法定外繰入を解消している。</p>			<p>・国民健康保険被保険者の減少</p> <p>・子ども子育て支援制度による影響の最小化</p>			<p>・診療報酬明細者の点検調査等、療養費等の支給の適正化の実施</p> <p>・適正受診・服薬の推進</p> <p>・国民健康保険税の適正な徴収実施</p> <p>・法定外繰入を前提としない国民健康保険事業の運営</p>		

7	施策番号	12	細施策番号	1	細施策名	地域医療連携体制の強化	事業名	看護専門学校運営	
	目標設定にあたって重視した点		市民生活・地域経済の回復、発展						
	【目的】			【目標（2030年のあるべき姿）】			【目標（年度末のあるべき姿）】		
	全国的に不足している医療人材を地域で育成・確保できるよう、市立看護専門学校を運営し、八王子市の地域医療に貢献できる質の高い看護師を養成する。			地域医療の担い手となる質の高い医療人材が育成・確保されている。			入学者の定員が確保できている。 卒業生の70%以上が市内に就職している。		
	【現状】			【課題】			【事業内容】		
<ul style="list-style-type: none"> ・120名の学生が学ぶ市立看護専門学校を運営し、八王子市の特性を活かした研修等を行い、地域医療の担い手である看護師を輩出している。 ・市内就職率は70%、看護師国家試験合格率は90%をそれぞれ超えている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・学生（応募者）の確保 ・教育の質の向上 ・ひとり親家庭の支援 ・国家試験合格率100%の実現 ・市内就職率70%以上の維持 			<ul style="list-style-type: none"> ・入試内容等の見直し（社会人枠、推薦要件、試験内容、入試日程、デジタル出願） ・学校のPR活動（高校訪問、HP、SNSの活用など） ・教員研修の実施（随時） ・令和9年度に予定しているデジタル教科書の導入準備 ・ひとり親家庭の支援（公開講座の実施） ・学校関係者評価会議を活用した学校運営の改善 			